

言葉の特徴や使い方に関する事項

主語と述語について考えよう

年 組 番 名 前

一 1 から 3 の文の主語として適切なものを、アからエまでの中からそれぞれ一つ選んでみましょう。

1 ア やんでいた イ 雨が急に ウ 急に エ ぱり出した。 イ

2 ア わたしが イ かつている ウ メダカが エ たまごを 産んだ。 ウ

3 ア 明日の イ 遠足は ウ 雨が エ かつたら 中止です。 イ

二 次の文で、主語を示す ----- 部ア・イの述語にあたるものを、----- 部からそれぞれ一つ選んで、その番号を書きましょう。

ア わたしは、今朝 ¹ さいた アサガオの花に、イ 黒い種 ² が できるまでの ³ 様子を ⁴ 観察した。

ア わたしは → 4 イ 黒い種が → 2

◆解説◆
文を読み直してみると、書いている時には気づかなかつた文のあやまりに気づくことができます。主語と述語のつながりに注意しながら、文を読み返しましょう。

三 ----- 部と ----- 部とのつながりが合っていない文があります。合っていない文の番号を、①から③までの中から一つ選んで書きましょう。また、----- 部は次のまゝにして、文の意味が変わらないように、選んだ文を正しく書き直しま

- ① くだものたっぷりのケーキは、とてもおいしそうです。
- ② 楽しみは、くだものたっぷりのケーキを食べます。
- ③ わたしは、くだものたっぷりのケーキを食べます。

選んだ文の番号 ②

書き直した一文

◆解説◆
②の文は、主語が「楽しみは」で、述語が「食べます。」です。主語と述語をつなげて読んでみると、「楽しみは、食べます。」となり、つながりが合っていないとが分かります。
主語の「楽しみは」に合わせて、述語を「食べることとす。」に書き直すと、「楽しみは、食べることとす。」となり、つながりが合った文になります。

楽しみは、くだものたっぷりのケーキを食べることとす。

◆解説◆

主語を見つけるには、まず述語を確かめて、「そうする」のは、何か(だれか)を文の中からさがし、主語と述語のつながりが合っているかどうかを確認しましょう。